Creative Enzymes®

ネイティブ ストレプトマイセス・グロビスポルス ATCC 21553 ミュタノリシン

Cat. No. NATE-0464

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ムタノリシンはN-アセチルムラミダーゼです。リゾチームと同□に、細菌細胞壁ポリマーであるペプチドグリカン-多糖類のβ-N-アセチルムラミル-(1→4)-N-アセチルグルコサミン結合を切断する壁溶解酵素です。そのカルボキシ末端部分は、特有の細胞壁ポリマーの認識と結合に関与しています。ムタノリシンはリステリアやラクトバチルス、ラクトコッカスなどの他のグラム陽性細菌を溶解します。
用途	ムタノリシンは、乳酸ストレプトコッカスの溶解とプロトプラストの生成を評価する研究に使用されました。また、グループBストレプトコッカスをプロトプラストに□換する研究にも使用されています。これは、細菌から容易に分解可能なバイオ分子やRNAを分離するための□やかな細胞溶解を提供します。DNAの分離のためのスフェロプラストの形成にも使用されています。細菌から容易に分解可能なバイオ分子やRNAを分離するための□やかな細胞溶解を提供します。DNAの分離のためのスフェロプラストの形成にも使用されています。
別名	ムタノリシン; 55466-22-3

製品情報

由来	ストレプトマイセス・グロビスポルス ATCC 21553
形態	フィコールとナトリウムコハク酸塩バッファー塩を含む凍結乾燥粉末。
CAS登□番号	55466-22-3
分子量	23 kDa
活性	> 4000 ユニット/mg タンパク質 (ビウレット)
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 6.0の条件下で、1 mLの体積でStreptococcus faecalis細胞壁の懸濁液を基質として使用した場合、1分あたりΔA600が0.01を生成します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C